

暮らしの中の造形展

田上緋と手拭

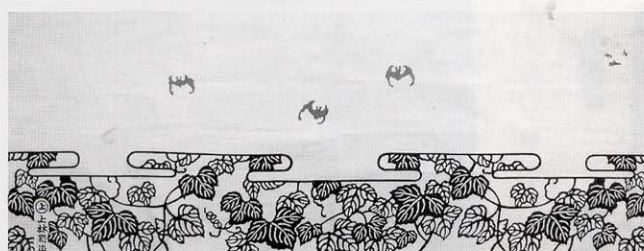
田上地区では「緋と手拭」が日常生活や生産活動において、欠かせない存在でした。それは実用であったことはもちろん、造形的にも非常に優れており、生活の中から生まれた造形を代表するものです。

本展示は、田上郷土史料館（天津市上田上牧）に収蔵されている民具、また自宅に大事に保存されていた民具を紹介します。

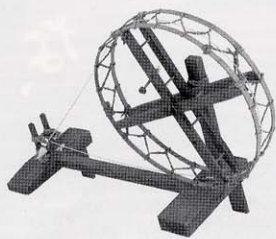
地域に蓄積された文化の厚みを再認識する機会をもつとともに、人々の創意工夫によって物や道具が大切に扱われてきたことを感じてください。



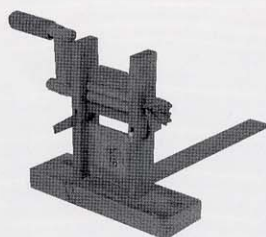
ミハバマエダレ（三幅前垂れ）



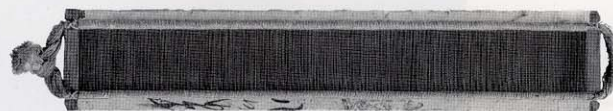
田上手拭 「鶯とコウモリ」



イトグルマ（糸車）



ワタクリキ（綿繰機）



オサ（箆）

上記写真5点：田上郷土史料館蔵

出展：機織り道具（地機、高機、綿繰機、糸車、カセ繰機、経台、ヒ、オサ、ソウコウなど）、田上手拭、仕事着（三幅前垂れ、手甲、脚絆、ハンテンなど）、藁細工（ソウリ、ユキグツ、牛の靴、蓑、モッコ、蓆など）、竹細工（木葉カゴ、松茸出荷用カゴ、バラソオ、ウエ、ピクなど）、柿渋絞り機など。

関連企画

①2008年5月17日（土）

15:00～16:30

講演 「田上郷土史料館のなりたち」

東郷 正文（田上郷土史料館長・真光寺住職）

コメンテーター：古市 秀樹

会場：龍谷大学瀬田学舎 3号館107号教室

13:30～15:00 / 16:30～

綿繰り・原始機の体験、実演

講師：琵琶湖博物館はしかけグループ「近江はたおり探検隊」

会場：龍谷大学瀬田学舎RECホール 本展示場内

綿から種をとる作業「綿繰り」や、弥生時代から行われていた原始的な機織り「原始機」が体験できます。

また、地機（下機）、高機の実演・解説を行います。

申込不要
無料

②2008年5月22日（木）

13:30～17:00

お話し会 & 綿繰り・原始機の体験、実演

講師：琵琶湖博物館はしかけグループ「近江はたおり探検隊」
上田上のみなさん

会場：龍谷大学瀬田学舎RECホール 本展示場内

綿から種をとる作業「綿繰り」や、弥生時代から行われていた原始的な機織り「原始機」が体験できます。

また、地機（下機）、高機の実演・解説、民具の使い方や、仕事着の着方などについてお話しします。

申込不要
無料

アクセス

JR「京都」駅から米原方面へ「瀬田」駅下車、帝産バス（龍谷大学行き）約8分

※会場へは、公共の交通機関をご利用下さい。

